

I 次の文章を読み、以下の問い(問1～問5)に答えなさい。

710年(和銅3年)、^A元明天皇のときに平城京へと遷都がおこなわれた。のちに、平安京に遷るまでの時代を奈良時代という。奈良時代は、藤原鎌足の子藤原不比等が登場する。藤原不比等は、娘が文武天皇と婚姻関係を結んだことをきっかけに影響力をさらに強めようとしていく。不比等の死後、不比等の子どもらの^B藤原武智麻呂を長兄とする兄弟が政治の主導権を握った。しかし、天然痘の大流行によって藤原四兄弟が相次いで亡くなったことで、皇族出身の橘諸兄が政権を握り、それを機に^C藤原広嗣が反乱を起こすなど、藤原氏の勢力は一時的に後退する。

疫病や反乱などによる政府の動揺はおさまらず、^D聖武天皇は数年の間に、平城京から都を転々と移すことになった。聖武天皇は、749年に娘の孝謙天皇に譲位をした。孝謙天皇は、一度譲位したのち、再び即位して称徳天皇となり、政治にたずさわる。皇位継承者を明確にしていなかった称徳天皇の死後は、藤原百川らが中心となり、それまで続いていた天武系の皇統にかわって、天智天皇の子施基皇子の子である光仁天皇を即位させることになった。

問1 下線部Aに関連して、元明天皇の時代のできごとについて説明したものととして最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 唐の律令にならないうちから、刑部親王と藤原不比等らが中心となって大宝律令を制定し、中央行政組織から地方組織までを整えた。
- b 和同開珎を鑄造し、錢貨の流通を目指して蓄銭叙位令を発せられたが、流通は限定的で、京・畿内以外では稻や布などの物品による交易が広くおこなわれていた。
- c 民間の開墾による耕地拡大をはかって百万町歩の開墾計画を立て、次いで三世一身法を發して、未開地を開墾した場合、三世にわたって田地保有を認める法令を出した。
- d 現存する日本最古の漢詩集『懷風藻』が編纂され、大友皇子や大津皇子など、7世紀後半以来の漢詩を収録した。

問2 下線部Bに関連する内容について説明したものととして最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 妹の定子を一条天皇の中宮とすることに成功した。
- b 策謀によって左大臣の長屋王を除いて政権を奪取した。
- c 鎮護国家思想を背景に大仏造立の詔を出した。
- d 蝦夷征伐を実施し、胆沢城を築造して鎮守府を多賀城から移した。

問3 下線部Cの反乱目的として最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 橘諸兄政権下における橘諸兄の子の橘奈良麻呂の排除。
- b 橘諸兄政権下における空海・橘逸勢という学問僧・留学生の排除。
- c 橘諸兄政権下における藤原武智麻呂の子の藤原仲麻呂の排除。
- d 橘諸兄政権下における玄昉・吉備真備という学問僧・留学生の排除。

問4 下線部Dに関連して、聖武天皇が遷った都として語っているものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 大津京
- b 難波宮
- c 恭仁京
- d 紫香楽宮

問5 天平文化の作品と建築について正しい組合せを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 法隆寺百済観音像 — 東大寺法華堂
- b 興福寺阿修羅像 — 室生寺金堂
- c 神護寺阿界曼荼羅 — 醍醐寺五重塔
- d 薬師寺吉祥天像 — 唐招提寺金堂

II 次の文章を読み、以下の問い(問6～問10)に答えなさい。

1709年、徳川綱吉が死去したあとは、徳川家宣が6代将軍となった。家宣は、^A綱吉時代の政治を刷新し、御用人^Xと儒学者で侍講の^Yを側近として重用し政治をおこなった。しかし、家宣は1712年に病死し、子の家継は、3歳で将軍職を継いだ。幼少の将軍のもと、引き続き彼らによる幕政の主導が続いたが、家継も1716年に急逝した。

家継死去によって家康・秀忠・家光から続いた直系が途絶え、紀伊藩主の徳川吉宗が8代将軍についた。将軍となった吉宗は、幕政改革を実施する。これを^B享保の改革と呼ぶ。吉宗は、綱吉以来の側近政治によって遠ざけられていた譜代大名からなる老中・若年寄を重視する姿勢を示した。また、^C旗本をはじめとした新たな人材登用も行った。

問6 空欄XとYに入る名前の組合せとして正しいものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|---|------|---|------|
| a | X | 間部詮房 | Y | 新井白石 |
| b | X | 堀田正俊 | Y | 林羅山 |
| c | X | 保科正之 | Y | 伊藤仁斎 |
| d | X | 柳沢吉保 | Y | 熊沢蕃山 |

問7 下線部Aについて、綱吉時代のできごとについて説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 勘定吟味役の萩原重秀が流通する小判の改鋳を主導し、金の含有率を慶長小判と同率にして物価の騰貴をおさえようとした。
- b 明暦の大火による江戸の復興や鉱山の産出量減少などによって、財政が収支入減となったため長崎貿易での金銀の流出を防ぐため貿易額を定めた海舶五市新例を發した。
- c 儒学を重視して、林鳳岡を大学頭に任じて上野忍ヶ岡の孔子廟と家塾を新たに湯島に移し、聖堂と学問所を整備した。
- d 武家諸法度を改定し、第一条を「文武忠孝を励まし、礼儀を正すべき事」に改め、そのほかに大船建造の禁令を撤廃するなどした。

問8 下線部Bについて享保の改革において実施した改革の内容を説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 財政再建のために金銀貸借についての争いについての訴えを当事者間で解決させることはせず、幕府が訴えを受け付けることを定めた相対済し命を出した。
- b 新田開発を奨励するとともに、一定期間は同じ年貢率の定免法からその年の収穫に応じた年貢率を決める検見法へと改めて年貢増収を目指した。
- c 幕府財政の収入増大をはかるものとして、銅や真鍮の精錬・売買をつかさどる幕府直営の銅座、真鍮座を設置した。
- d 明暦の大火以降もたびたび大火に見舞われた江戸において、火除地などの防火施設を増加し、消火制度の強化するために町方独自の町火消を組織させた。

問9 下線部Cに関連して、享保の改革における人材登用にかかわる内容を説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 役職による石高基準を定め、それ以下の禄高のものが役職に就任した際、在職期間中のみ不足の石高を補填する上げ米を実施した。
- b 旗本の近藤重藏を抜擢して摂提島を探查させ、東蝦夷地を直轄地としたほか、「大日本沿海輿地全図」の作成を命じた。
- c 漢訳洋書の輸入制限をゆるめ蛮書和解御用を設ける一方、青木昆陽・野呂元丈にオランダ語を習わせて、とりわけ青木昆陽が救荒用の甘藷の普及を実現させた。
- d 地方の民政・農政にかかわる献策書「民間省要」を吉宗に献上した名主の田中丘隅を代官に任じて民政を担当させた。

問10 元禄文化にかかわる内容を説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a すぐれた意匠の蒔絵で知られる尾形光琳が倭屋宗達の画法を取り入れ琳派をひきいた。
- b 狩野永徳が水墨画と大和絵を融合させた装飾画を大成し、多くの障壁画を描いた。
- c 近松門左衛門が「日本永代蔵」など町人物と呼ばれる浮世草子を著した。
- d 出雲阿国が阿国歌舞伎と呼ばれるかぶき踊りを京都で始め歌舞伎が盛んになった。

Ⅲ 次の文章を読み、以下の問い（問11～問15）に答えなさい。

征韓論に敗北して1873年に明治六年の政変で下野した^A板垣退助や後藤象二郎は、1874年、愛国公党を結成するとともに民権議院設立の建白書を左院に提出した。これを契機に国内では国会開設にかかわる議論が盛んになり、自由民権運動がおこった。

政府も1875年の^B大阪会議によって「漸次立憲政体樹立の詔」を發布した。多くの準備が必要なため、時間をかけて国会開設を実現するというのもであった。ところが、1881年夏に開拓使官有物下げ事件がおきて、民権派からの批判に抗しきれないと判断した政府は、9年後の国会開設を約束する国会開設の詔を發した。

国家開設に先立ち、政府機構の改革が行われた。1885年12月、太政官制が廃され^C内閣制度を制定した。また、憲法制定のため、立憲政治の調査を終えて1883年に帰国した伊藤博文は、やドイツ人の法律顧問らの助言を得て憲法及び付属諸法令の起草にとりかかった。大日本帝国憲法の發布後の1890年7月に日本最初の衆議院議員総選挙が実施された後、^D第一議会が開かれることになる。

問11 空欄XとYに入る名前の組合せとして正しいものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a X 井上馨 Y フルベッキ
- b X 金子堅太郎 Y ボアソナード
- c X 井上毅 Y ロエスレル
- d X 大隈重信 Y クラーク

問12 下線部Aに関連して、明治六年の政変で下野した後の板垣退助の動きについて説明したものとして、最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 佐賀で不平士族たちに迎え入れられて征韓党の首領となり、政府に対して反乱をおこし、佐賀の乱を主導した。佐賀が鎮圧された。
- b イギリス流の議院内閣制を主張する立憲改進黨を結成し、主に都市部の実業家や知識人を支持基盤として活動した。
- c 土佐で片岡健吉とともに立志社を起こし、さらに民権派の全国組織を目指して愛国社を大阪に設立した。
- d 政府直轄軍として編成されていた御親兵を近衛兵として再編するとともに、国民皆兵を原則とする徴兵令を公布した。

問13 下線部Bに関して、大阪会議において定まった方針として誤っているものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 立法諮問機関である元老院の設置
- b 殖産興業や地方行政を担当する内務省の設置
- c 最高裁判所にあたる大審院の設置
- d 府知事・県令を集める地方官会議の開催

問14 下線部Cに関連して、第一次伊藤博文内閣のときのできごとについて説明したのとして、最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 大日本帝国憲法が發布され、総選挙の実施を前に超然主義の立場を声明して政党との対決の姿勢を示した。
- b 中央銀行として日本銀行を設立し、銀兌換の貨幣制度を導入するいっぽうで、緊縮財政とデフレ政策によって農村の困窮を招いた。
- c 井上馨外相による条約改正交渉の失敗をきっかけに三大事件建白運動がおこり民権派の動きが活発になったため、在京の民権派を東京から追放する保安条例を公布した。
- d ロシアとのあいだで樺太・千島交換条約を結び、さらに小笠原諸島に内務省からの出張所をおいて統治を再開して、日本の領土を国際的に画定した。

問15 下線部Dに関連して、第1回帝国議会にかかわる内容を説明したのとして最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 第1次山縣有朋内閣の下で召集され、山縣は施政方針演説のなかで、「主権論」と「利益論」の確保のための軍事費増強の必要を主張した。
- b 第1次山縣有朋内閣の下で召集され、山縣は施政方針演説のなかで、政費節減・民力休養を主張して、地租軽減の必要を主張した。
- c 第1次松方正義内閣の下で召集され、松方は地方制度改革として府県会規則にかわって、府県制・郡制を制定し、地方自治制を制度的に確立した。
- d 第1次松方正義内閣の下で召集され、松方は予算審議において民党と衝突して折り合わず、初めての衆議院解散をおこなった。

Ⅳ 次の文章を読み、以下の問い(問16～問20)に答えなさい。

1945年8月14日、日本は、連合国側に、Aポツダム宣言の受諾を通告した。日本は、マッカーサーを最高司令官とする連合国軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)の間接統治下に置かれることになった。マッカーサーは、幣原喜重郎内閣に対して、国内の民主化を目的としたB五大改革指令の実行を求めたのを始め、公職追放や極東国際軍事裁判所の設置などを実行していった。

民主化改革のなかで、C次々と政党が復活ないしは結成され、日本共産党も合法的活動を開始した。そして1946年4月、戦後初の総選挙がおこなわれ、吉田茂内閣が誕生した。

占領期の経済改革は、まず経済の民主化政策にはじまり、その後、占領後期に「経済安定九原則」をアメリカ政府が発表し、さらにドッジラインによる超均衡予算が組まれたことで、D経済の安定化および市場経済化へと移行した。その背後には、日本への援助であるガリオア資金やエロア資金がアメリカの負担でなされていることが問題視されたことや、東西冷戦という国際情勢などを踏まえ、日本を早く復興させるべきだという方向へとアメリカ国内意見がまとまったことが原因としてあげられる。

そして、インフレが収まり物価上昇も安定化するなかで安定恐慌も発生する。このような不況の最中に朝鮮戦争が勃発した。日本経済は、いわゆる特需景気がおこり、息を吹き返した。その後、1951年にサンフランシスコで講和会議が開かれ、日本は48ヶ国との間でサンフランシスコ平和条約を調印し、翌年4月に条約が発効してE占領は終結した。

問16 下線部Aに関連して、ポツダム宣言受諾後の動きについて説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a ポツダム宣言受諾後に総辞職した鈴木貫太郎内閣に代わって東久邇宮稔彦が組閣して旧日本軍の武装解除などにあたったが、人権使令の実行をためらい総辞職した。
- b アメリカ軍艦ミズーリ号上での降伏文書署名後に総辞職した鈴木貫太郎内閣に代わって東久邇宮稔彦が組閣し、旧日本軍の武装解除などにあたった。
- c ポツダム宣言受諾の後に総辞職した幣原喜重郎内閣に代わって、東久邇宮稔彦が組閣したが、人権使令の実行をためらい総辞職した。
- d 連合国軍の進駐受け入れを主導した後に総辞職した鈴木貫太郎内閣に代わって、幣原喜重郎が内閣を組織し、旧日本軍の武装解除などにあたった。

問17 下線部Bに関して、五大改革指令について述べた次の文A～Eについて、正しいものの組合せを、下のa～dのうちから一つ選びなさい。

- A 天皇の人間宣言
- イ 国家と神道との分離
- ウ 労働組合の結成奨励
- エ 経済機構の民主化
- a ア・イ b ア・ウ c イ・エ d ウ・エ

問18 下線部Cに関連して、戦後に生まれた政党について説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 日本自由党は、出獄した徳田球一や志賀義雄らによって合法政党として結成された。
- b 日本社会党は、旧立憲政友会系で翼賛選挙時の非推薦議員を中心にして鳩山一郎を総裁に結成された。
- c 日本進歩党は、旧立憲民政党系で翼賛議会における大日本政治会所属の議員を中心にして結成された。
- d 日本共産党は、旧無産政党的各派を統合して片山哲により結成された。

問19 下線部Dに関連して、占領下における経済改革の過程でおきたことについて説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 労働者による生産管理闘争が活発になり、1947年2月1日に官公庁労働者を中心として基幹産業を巻き込むゼネラル＝ストライキへと突入した。
- b 1949年、第3次吉田茂内閣では、1ドル＝360円の単一為替レートを設定し、日本経済を国際社会に復帰させて輸出振興をはかろうとした。
- c 1946年12月に第1次吉田茂内閣は、繊維工業・自動車工業などの重要産業部門に資材と資金を集中する傾斜生産方式を閣議決定した。
- d 1948年、第2次吉田茂内閣は、ドッジラインにしたがい赤字を許さない超均衡予算を編成したためにインフレが進行し不況が深刻化し、中小企業の倒産が増大した。

問20 下線部Eに関連して、占領期における文化について説明したものと最も適当なものを次のa～dのうちから一つ選びなさい。

- a 1949年に理論物理学者の朝永振一郎が日本人ではじめてノーベル賞を受賞した。
- b 1949年の法隆寺金堂壁画の焼損をきっかけに文化財保護法が制定された。
- c 1946年の相沢忠洋による石器の発見によって登呂遺跡の発掘調査がなされた。
- d 白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫のいわゆる「三種の神器」が急速に普及した。

V 以下の問い（問21・問22）について、各問の指示に従って解答用紙の解答記入欄に記述しなさい。

問21 北条時頼による執権政治の強化について、120文字程度で説明しなさい。

問22 第一次護憲運動について120文字程度で説明しなさい。